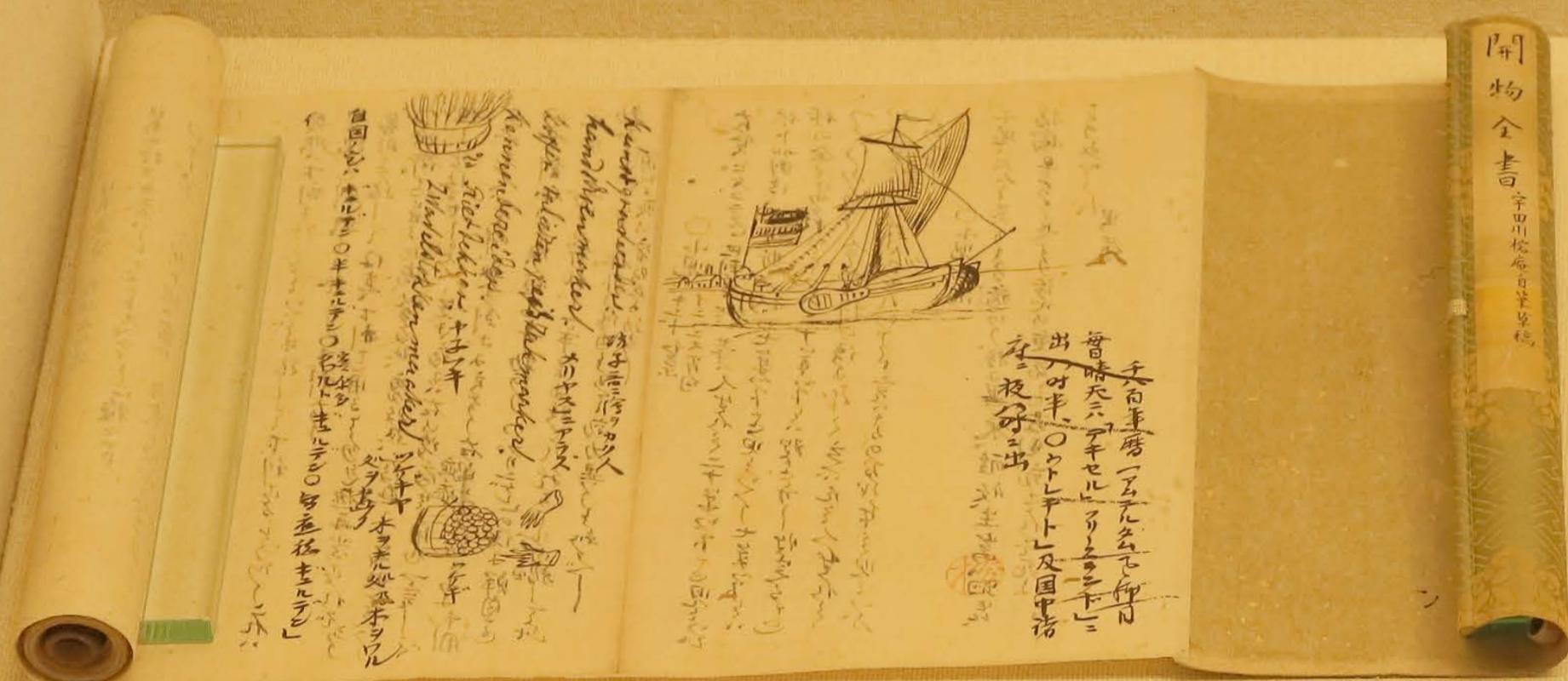
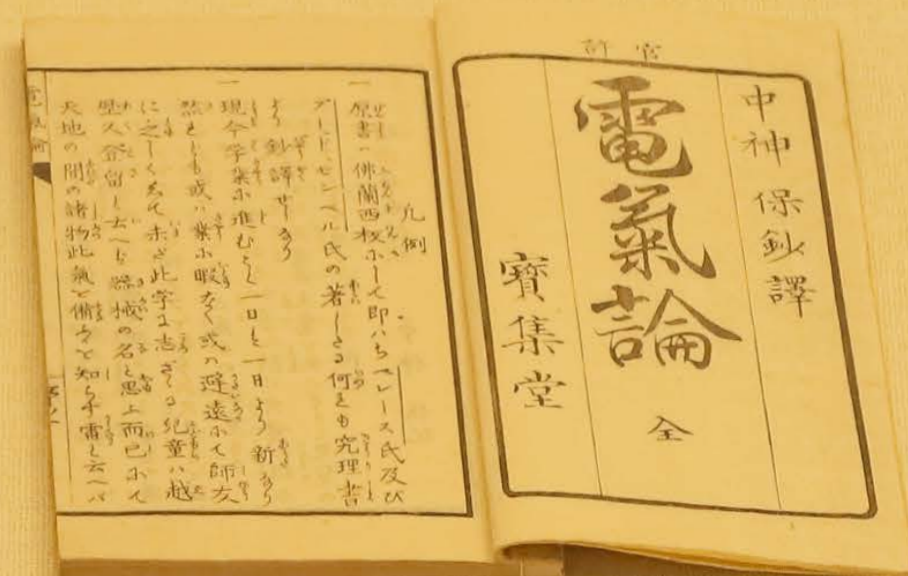


2



1



1 『電気論』 (中神保 鈔訳)

” Theory of Electricity ”

日本人の旺盛な知識欲に加え、江戸時代から読み書きが普及してこともあり、多くの欧米知識や技術に関する本が日本語に翻訳されて出版されました。本書もその一つで、電気知識は最も関心の高い分野でした。

Due to the Japanese people's strong desire for knowledge and the widespread literacy that began in the Edo period, many books on Western knowledge and technology were translated and published in Japanese. This book was one of them.

② 宇田川榕菴^{う だ がわ よう あん}白筆草稿^{そう こう} 『開物全書』^{かい ぶつ}

卷物全 12 紙 (宇田川榕庵^{ち ょ} 著)

Udagawa Yoan's handwritten manuscript "Kaibutsu Zensho" (Complete Collection of All Things), 12 scrolls

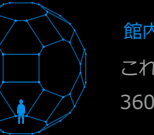
化学、植物学の祖と呼ばれた榕庵が、ケンベル(1651-1716)の「日本誌」(1727)を引用して、西洋の^{こよみ}暦、^{みんぞく}薬、民俗、歴史、日本の^{かへい}貨幣など、多岐にわたり^{つづ}綴ったもの。^{おうぶん}欧文を交えて記述している。

Udagawa Yoan, known as the father of chemistry and botany, wrote about a wide range of topics, including the Western calendar, medicine, folklore, history, and Japanese currency, quoting from Engelbert Kämpfer's "The History of Japan" (1727).

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** › <http://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介しますデジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.